

ごあいさつ



松前町長

白石 勝也

松前町の皆さん明けましておめでとうございます。私たちの町は、今年、旧の松前町、岡田村、北伊予村が合併してから50年目、半世紀という大きな節目を迎えます。これまで先人たちのご努力で人口3万人を超える町に成長してまいりました。今年、50周年を記念する楽しいイベントを住民の皆さんが参加しやすい方法を考えながら実行していきたいと考えています。

国は、「三位一体の改革」により、地方への国庫補助負担金や地方交付税を削減する方針です。自立して真の地方分権を確立するためには、自らも改革を進めていかなければなりません。

このため、松前町では、去年4月に住民の代表からなる改革会議を立ち上げると共に、庁内には行政改革推進本部を設けて、従来の補助金や負担金などのあり様など事務事業全般を様々な角度から検討してきました。その結果につきましては、去年11月に町議会に説明し、3月議会で審議いただく予定です。住民の皆さんにも広報特集号などを通じてご説明してまいりたいと考えております。

この改革は、歳出を抑えることが勿論大きな目的ではありますが、同時に慣行的に継続してきた様々な事業をいったん立ち止まって見直し、その事業が本当に今の時代に必要なものか、効果があるのか基準を設けて考えてみようということでもあります。

そして、従来の「金」「物」に頼りがちだった制度や事業を、知恵やアイデアを出して、人と人の助け合いでやっていくように発想を転換したいものです。すべての人に公平、平等という精神を大事にしつつ、本当に困っている人たちが弱い立場の人たちにどういう支援が必要なのかを考えていきたいと思えます。その結果、新しい制度や事業が必要であるならそれは十分検討して実施してまいりたいと思えます。

今年はいわば改革元年であります。これからも、高齢者が生きがいを持って、笑顔で健康な暮らしができる施策を、また、子どもたちが安心して勉強やスポーツに打ち込め、持っている個性を引き出せるような教育環境をつくっていききたいと思えます。そして、住民がそれぞれの世代に応じた学習活動や文化活動を通じて、心豊かに生活できればと願っています。

去年は台風の相次ぐ上陸、新潟県中越地震などの災害で、私たちは自然の脅威を思い知らされました。また、子どもたちを巻き込んだ悲しい事件が相次ぎました。

福祉、教育の充実と共に安心して安全に生活できる災害に強い町をつくっていかねばなりません。住民の皆さんと一緒に希望をもって住んで楽しい町をつくるため、今年も力いっぱい頑張っています。

住民の皆さんにとって今年が素敵な年になりますようお祈り申し上げます。

謹んで

新年のお慶びを

申し上げます



助役

石川 晋吾

収入役

佐伯 和雄

教育長

赤星 皓一

